



財務会計

【第4回】取得原価と時価

経済学部 山根陽一

1

- 前回は、財務会計の目的として、株式会社における株主への会計報告と証券市場における投資者への情報提供という2つを紹介しました。
- そして、最後にみなさんにどちらが重要かについて、意見を書いてもらいました。

www.yamanelab.jp/FA_20131017_QA.pdf

- Q7:株主への会計報告が重要:7名、投資者への情報提供が重要:7名、どちらも重要:1名

前回の話

2

- 意見は半々にわかれまして。
- どちらが重要かというのは、実に難しい問題です。
- 実際、どちらも重要ですし、他にも企業には多様な利害関係者がいます。
- ところで、前々回に目的が重要だという話をしました。
- それは、目的によって行為が変わるからです。
- この2つの目的で何が変わるのか、考えてみましょう。

財務会計の目的

3

- 次の設例を考えてください。
- みなさんが、10,000,000円ずつを出資し、100,000,000円（10名分）の出資で設立された株式会社があったとします。設立に際し、50,000,000円を銀行から借入れも行っていきます。
- 1年目が終了し、次のような会計報告を経営者から受けたとしましょう。※すべて現金取引と仮定

会計報告

- ① 100,000,000円の出資金のうち、商品の仕入に70,000,000円を支出し、うち30,000,000円分を60,000,000円で販売した。
- ② 販売に要した費用は、広告宣伝費3,000,000円、人件費12,000,000円、家賃5,000,000円がかかった。
- ③ 役員報酬(社長の給料)として6,000,000円かかった。
- ④ 店舗を構えるにあたり、10年使用する備品2,000,000円を購入した。
- ⑤ 余剰資金のうち25,000,000円を株に投資した。
- ⑥ 余剰資金のうち25,000,000円を国債に投資した。
- ⑦ 国債の利息0.2%(50,000円)を受け取った。
- ⑧ 株の配当金750,000円を受け取った。
- ⑨ 借入金に対し2%(1,000,000円)の利息を支払った。
- ⑩ 利益に対して40%の法人税を支払った。

| | | | |
|---------|-------------|-----|-------------|
| • 現金 | 150,000,000 | 借入金 | 50,000,000 |
| | | 資本金 | 100,000,000 |
| ① 仕入 | 70,000,000 | 現金 | 70,000,000 |
| 現金 | 60,000,000 | 売上 | 60,000,000 |
| ② 広告宣伝費 | 3,000,000 | 現金 | 20,000,000 |
| 給与 | 12,000,000 | | |
| 支払家賃 | 5,000,000 | | |
| ③ 役員報酬 | 6,000,000 | 現金 | 6,000,000 |
| ④ 備品 | 2,000,000 | 現金 | 2,000,000 |

仕訳

| | | | |
|---------|------------|--------|------------|
| ⑤ 有価証券 | 25,000,000 | 現金 | 25,000,000 |
| ⑥ 有価証券 | 25,000,000 | 現金 | 25,000,000 |
| ⑦ 現金 | 50,000 | 有価証券利息 | 5,000 |
| ⑧ 現金 | 750,000 | 受取配当金 | 750,000 |
| ⑨ 支払利息 | 1,000,000 | 現金 | 1,000,000 |
| • 繰越商品 | 40,000,000 | 仕入 | 40,000,000 |
| • 減価償却費 | 200,000 | 備品 | 200,000 |
| ⑩ 法人税等 | 1,440,000 | 現金 | 1,440,000 |

仕訳

損益計算書

| | |
|-----------------|-------------------|
| 売上 | 60,000,000 |
| 売上原価 | 30,000,000 |
| 売上総利益 | 30,000,000 |
| 販売費及び一般管理費 | 26,200,000 |
| 営業利益 | 3,800,000 |
| 受取利息 | 50,000 |
| 受取配当金 | 750,000 |
| 支払利息 | 50,000 |
| 経常利益 | 3,600,000 |
| 税引前当期純利益 | 3,600,000 |
| 法人税等 | 1,440,000 |
| 税引後当期純利益 | 2,160,000 |

貸借対照表

| | | | |
|--------|--------------------|-------|--------------------|
| 現金 | 60,360,000 | 借入金 | 50,000,000 |
| 商品 | 40,000,000 | 負債合計 | 50,000,000 |
| 備品 | 1,800,000 | 資本金 | 100,000,000 |
| 投資有価証券 | 50,000,000 | 剰余金 | 2,160,000 |
| 資産合計 | 152,160,000 | 純資産合計 | 102,160,000 |
| 借方合計 | 152,160,000 | 貸方合計 | 152,160,000 |

- 利益処分案 ※剰余金:2,160,000円
 - 役員賞与: 1,000,000円
 - 株主配当金: 1,000,000円

- さて、納得頂けたでしょうか？
- 提供された資金をどのように使用して、いくら儲かったのか(経営成績)、現在どのようになっているのか(財政状態)をP/LとB/Sにまとめ、2,160,000円の利益をどのように処分するかも提案されています。
- この報告は過去の事実(いつ、いくらで、何を)に基づいた情報のみで作成されています。

株主への会計報告

10

- では、このようなケースを想定するとどうでしょうか？

1. 期末在庫40,000,000円について

- 1) 期末における仕入価格が38,000,000円である場合
- 2) 期末における仕入価格が42,000,000円である場合
- 3) 期末における仕入価格が8,000,000円である場合

2. 備品1,800,000円について

- 1) 期末における購入価格が1,600,000円である場合
- 2) 期末における購入価格が2,000,000円である場合
- 3) 期末における購入価格が400,000円である場合

こんなケースでは

11

3. 株式25,000,000円について

- 1) 期末における市場価格が22,000,000円である場合
- 2) 期末における市場価格が28,000,000円である場合
- 3) 期末における市場価格が5,000,000円である場合
- 4) 期末における市場価格が50,000,000円である場合

4. 国債25,000,000円について

- 1) 期末における市場価格が24,000,000円である場合
- 2) 期末における市場価格が26,000,000円である場合
- 3) 期末における市場価格が5,000,000円である場合

こんなケースでは

12

- 上記のように、取得原価と時価が異なる場合、財務諸表に時価を反映させるべきでしょうか？
- しなくてよいということであれば、話は終わりなのですが...
- それは困るので、したほうがよいというケースで考えてみましょう。
- 反映する場合、どのように反映するかが問題になりますね。
- 評価損、評価益は損益計算書のどこに記載する？
- 時価は購入価額？それとも売却価額？

反映するべきでしょうか？

13

1. 期末在庫40,000,000円について

- 1) 期末における仕入価格が38,000,000円である場合
 - P/Lに2,000,000円の評価損(売上原価or営業外費用)を計上し、B/Sの商品を38,000,000円で記載する？
- 2) 期末における仕入価格が42,000,000円である場合
 - P/Lに2,000,000円の評価益(営業外収益)を計上し、B/Sの商品を42,000,000円で記載する？
- 3) 期末における仕入価格が8,000,000円である場合
 - P/Lに32,000,000円の評価損(特別損失)を計上し、B/Sの商品を8,000,000円で記載する？

商品の評価

- でも、そもそも40,000,000円で仕入れたものが、例えば80,000,000円で販売されるのであれば、結局、利益は40,000,000円なのだから、評価損益を計上する意味はあるの？
- 3)のように、仕入価格が80%下落した場合は、特別損失として計上して、帳簿価格も修正した方がよいように思うけど、日々の価格変動まで反映する意味はどこまであるのか...
- あと、時価は仕入価格ではなくて売却価格ではダメなの？

商品の評価

15

2. 備品1,800,000円について

- 1) 期末における購入価格が1,600,000円である場合
 - P/Lに200,000円の評価損(営業外費用?)を計上して、B/Sの備品を1,600,000円で記載する?
- 2) 期末における購入価格が2,000,000円である場合
 - P/Lに200,000円の評価益(営業外収益?)を計上して、B/Sの備品を2,000,000円で記載する?
- 3) 期末における購入価格が400,000円である場合
 - P/Lに1,400,000円の評価損(特別損失?)を計上して、B/Sの備品を400,000円で記載する?

固定資産の評価

- 備品は、会社の事業に使用するものだから売ることもないし、あえて時価評価する必要があるの？
- それはそうと、そもそも減価償却はなぜする必要があるの？もしかしたら、やはり時価でB/Sに計上すればいいのではないか？
- 例えば、価値がすごく上昇して、5,000,000円になっても、1,800,000円でB/Sに記載するの？

固定資産の評価

17

3. 株式25,000,000円について

- 1) 期末における市場価格が22,000,000円である場合
 - P/Lに3,000,000円の評価損(営業外費用)を計上し、B/Sの有価証券を22,000,000円で記載する？
- 2) 期末における市場価格が28,000,000円である場合
 - P/Lに3,000,000円の評価益(営業外収益)を計上し、B/Sの有価証券を28,000,000円で記載する？
- 3) 期末における市場価格が5,000,000円である場合
 - P/Lに20,000,000円の評価損(特別損失)を計上し、B/Sの有価証券を5,000,000円で記載する？
- 4) 期末における市場価格が50,000,000円である場合
 - P/Lに25,000,000円の評価益(特別利益)を計上し、B/Sの有価証券を50,000,000円で記載する？

有価証券の評価

- 有価証券も商品と同様に、結局買った時の値段と売った時の値段の差額が利益になるので、時価評価して損益を計上することに意味があるのか？
- 業務提携などによる理由で購入したのであれば、売ることもないので、備品と同様に、時価評価して損益を計上することに意味があるのか？
- そう言えば、子会社の株ということもあり得るよね...

有価証券の評価

19

- さて、今の話を聞いて、資産の時価評価について、どうお考えになるでしょうか？
- 例として、2)のケース(時価が上昇している場合)の時価を反映した財務諸表を作成するとどうなるか、見てみましょう。

時価評価について

20

- 商品:P/Lに2,000,000円の評価益(営業外収益)を計上し、B/Sの商品を42,000,000円で記載する？

繰越商品 2,000,000 商品評価益 2,000,000

- 備品:P/Lに200,000円の評価益(営業外収益?)を計上して、B/Sの備品を2,000,000円で記載する？

備品 200,000 固定資産評価益 200,000

- 株:P/Lに3,000,000円の評価益(営業外収益)を計上し、B/Sの有価証券を28,000,000円で記載する？

有価証券 3,000,000 有価証券評価益 3,000,000

- 国債:P/Lに1,000,000円の評価益(営業外収益)を計上し、B/Sの有価証券を26,000,000円で記載する？

有価証券 1,000,000 有価証券評価益 1,000,000

仕訳

21

損益計算書

| | |
|------------|-------------------|
| 売上 | 60,000,000 |
| 売上原価 | 30,000,000 |
| 売上総利益 | 30,000,000 |
| 販売費及び一般管理費 | 26,200,000 |
| 商品評価益 | 2,000,000 |
| 有価証券評価益 | 4,000,000 |
| 固定資産評価益 | 200,000 |
| 受取利息・配当金 | 800,000 |
| 支払利息 | 1,000,000 |
| 税引前当期純利益 | 9,800,000 |
| 法人税等 | 3,920,000 |
| 税引後当期純利益 | 5,880,000 |

22

貸借対照表

| | | | |
|--------|--------------------|-------|--------------------|
| 現金 | 57,880,000 | 借入金 | 50,000,000 |
| 商品 | 42,000,000 | 負債合計 | 50,000,000 |
| 備品 | 2,000,000 | 資本金 | 100,000,000 |
| 投資有価証券 | 54,000,000 | 剰余金 | 5,880,000 |
| 資産合計 | 155,880,000 | 純資産合計 | 105,880,000 |
| 借方合計 | 155,880,000 | 貸方合計 | 155,880,000 |

- 利益処分案 ※剰余金:5,880,000円
 - 役員賞与: 2,500,000円
 - 株主配当金: 3,000,000円

- さて、期末の資産を時価で評価して、評価損益をP/Lに計上して時価でB/Sを作成してみました。
- この時価で作成された財務諸表について、どんな感想を持ちますか？
- 会社の実態がわかってよいという意見もあれば、いくらか違和感を感じているという方もいらっしゃるでしょう。

時価での会計報告

24

Q8:商品の期末評価について、取得原価と時価のどちらを使用すべきか、意見を述べてください。

Q9:固定資産の評価について、取得原価と時価のどちらを使用すべきか、意見を述べてください。

Q10:有価証券の評価について、取得原価と時価のどちらを使用すべきか、意見を述べてください。

Q11:取得原価で作成されたF/Sの長所と短所を箇条書きで挙げてください。

Q12:時価で作成されたF/Sの長所と短所を箇条書きで挙げてください。

本日のクエスチョン

25

- 時価会計・IFRS批判といえは、

- 時価会計不況

<http://www.yamanelab.jp/yangyi0312/book.htm>

- 時価主義を考える

<http://www.yamanelab.jp/yangyi0312/book.htm>

- 国際会計基準はどこへ行くのか

<http://yamanelab.ldblog.jp/archives/52680696.html>

- 国際会計基準の着地点

<http://yamanelab.ldblog.jp/archives/53026338.html>

本の紹介

26